

地域力向上支援補助金事業

令和 5 年度事例

令和 5 年度事業実績

補助事業区分	団体名	事業の名称	総事業費 (補助額)
チャレンジ事業	八木沢ボランティア会	地域の環境美化と安全対策事業	252,588円 (250,000円)
チャレンジ事業	津軽石駅にぎわいクラブ	地域の環境美化事業	251,546円 (250,000円)
チャレンジ事業	旧赤前小学校利活用検討委員会	旧赤前小学校を利活用するための 地域主体の事前事業	337,000円 (250,000円)

R5チャレンジ事業

事業の名称

地域の環境美化と安全対策事業 (補助金250千円)



団 体 名 八木沢ボランティア会

実施期間 令和5年4月3日～令和5年12月21日

事業の目的 ・八木沢地域の環境美化のため、ボランティア会員で植栽を始めとする美化活動を行う。
また、生活道、通学路、土手の草刈りや支障木の伐採、排水路の泥上げ等を行い、
地域の景観と安全性の向上を図る。

事業の内容 ・生活道、通学路、土手の草刈り ・通学路の支障木の伐採 ・つつじ、しだれ桜の手入れ

事業の成果 ・通学路の死角を解消できた。
・地域民の健康、楽しさを希求する気持ちが高まるような、緑と花のある景色を眺めながらの散歩ができるようになった。
・枝の落下や蛇などに会う危険を回避できた。



R5チャレンジ事業

事業の名称

地域の環境美化事業 (補助金250千円)

団体名 津軽石駅にぎわいクラブ

実施期間 令和5年5月14日～令和6年1月13日

事業の目的 ・地域住民が利用している駅前の公園や駅舎周辺の広場、線路沿いの市道の草刈り作業や樹木の枝打ちを実施し、周辺的环境整備を努める。

事業の内容 ・駅前周辺施設、市道の草刈り・立木の剪定

事業の成果 ・ミニ公園周辺は、国道45号線に交差する県道があり交通量が多く、津軽石公民館、保育所及び小学校があって人通りが多い。
駅周辺の草刈りや花壇の整備をすることで、三陸鉄道利用者にも良い印象を持っていただいた。
・津軽石駅がテレビで放映されたことで、関東周辺からの観光客が多い。駅待合室のノートには、無人駅であるがホームや待合室がきれいといった感想の記載があった。
・駅周辺の草刈りをすることで、ペットボトルやゴミを捨てる人が少なくなった。今後も駅周辺的环境整備に努めたい。
・草刈り作業に手伝う住民が増えてきた。



R5チャレンジ事業

事業の名称

旧赤前小学校を利活用するための 地域主体の事前事業（補助金250千円）

団 体 名 旧赤前小学校利活用検討委員会

実施期間 令和5年6月1日～令和5年10月31日

事業の目的 ・2023年3月に閉校した赤前小学校を地域交流・防災などの拠点として活用するため、研修会や試験的なイベントを開催し、学校利活用の可能性を検討する。

事業の内容 ・「あつまれ！みんなの赤前小！ファミリーわくわくフェスタ 2023」の開催（屋台、産直、クラフトイベントの実施）
・「アート・エスケープ AI美術館からの脱出」の開催（小学生向け謎解き体験イベント）

事業の成果 ・7月に実施した「ファミリーわくわくフェスタ」では、家族連れを中心に、2日間で延べ1,000人以上の来場者があった。訪れた旧赤前小学校の卒業生からは学校を懐かしむ声があり、市外からの来場者は地域の取り組みに感心されていたようだった。一方で学校の場所が分かりづらいという意見もあり、災害時の避難所となっている旧赤前小学校の位置を再認識する必要性を感じた。

・10月に実施した「アートエスケープ」では、参加人数は少なかったが、小・中学生だけではなく、乳幼児や家族での参加者もあった。参加者からは「室内で実施するアミューズメントイベントのようなものが宮古では少ないので、継続して実施して欲しい」との声があった。

